

# 社員学会を対象とした人材育成と活用の実態調査

## APNグランドデザインに向けた エビデンス集積のために

2023年6月10日意見交換会

2021-2023 JANA理事

# 本調査の課題と目的

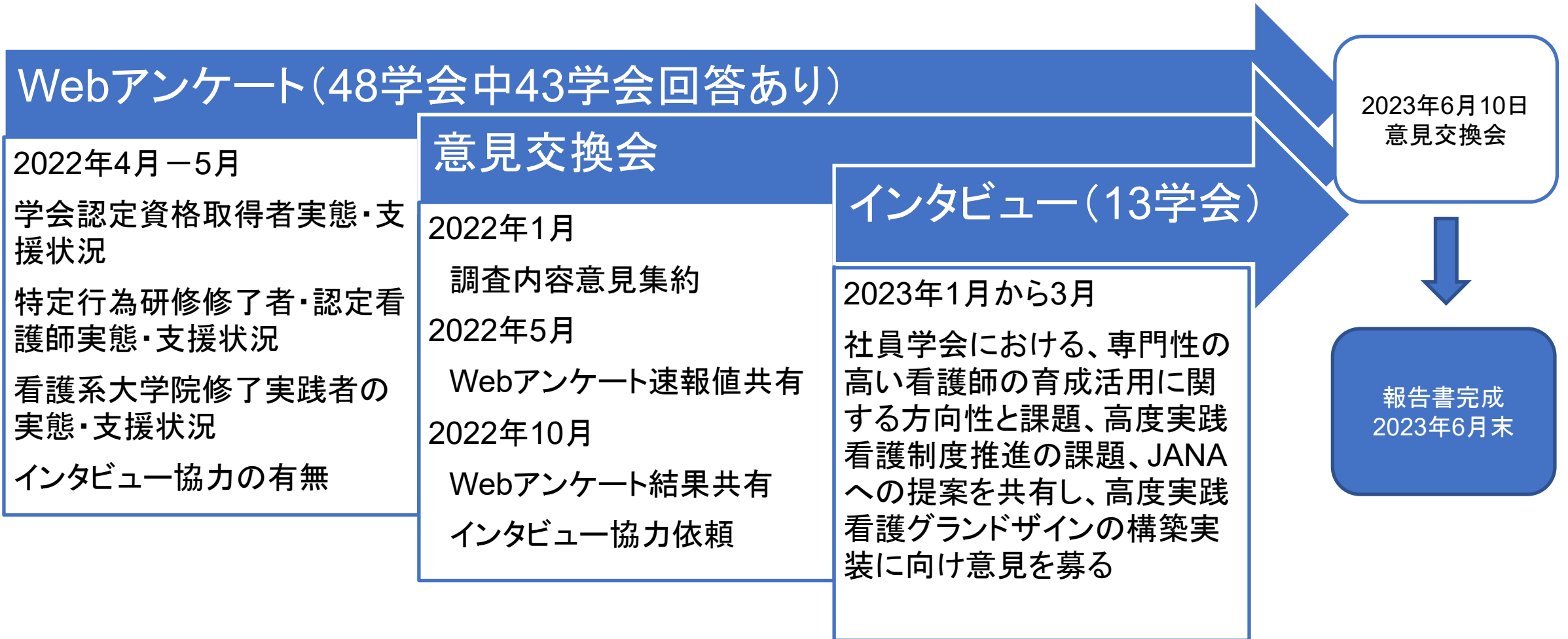
## ・ 課題

- ・ 「現状を整理し、今後の高度実践看護について看護界として合意可能な一つの大きな絵（Big picture）を描くために、看護系学会の協議の場である本会において、社員学会の人材育成と活用の実態、学会が認識している課題及び今後の方向性を調査することが必要と考えます。その調査結果を共有したうえで建設的な対話を行うことにより、高度実践看護制度の発展を目指した戦略を練ることが課題です。」（調査趣旨説明より抜粋）

## ・ 目的

- ・ 認証されている教育課程修了者ならびに学会認定資格取得者、研修プログラム修了者の育成および活動に関する実態、学会が認識している人材育成活用に関する課題および今後の方向性を明らかにし、JANA社員学会および関連する会議において、共有すること

# 調査の全体計画



# Webアンケート調査方法

- ・ 調査対象 2022年4月1日時点での日本看護系学会協議会社員学会
- ・ 調査期間 2022年4月1日から5月10日
- ・ 調査方法 Webアンケート（サーベイモンキー）
- ・ 分析方法
  - ・ 単純集計および自由記述の内容集計を行います。また本調査は記名式で行います。記入者のお名前は秘匿しますが、学会名は報告書内で共有します。学会名の公開をしない場合はその旨調査表の中で意思表示をお願いします。
- ・ 公表予定は以下の通りです。
  - ・ ①JANA社員学会に最終報告書を送付するとともにHPにアップする（2022年内を目途にする）
  - ・ ②中間報告を2022年5月14日のJANA情報交換会で行う。

# 回収状況

- 社員学会48学会中  
43学会より回収

# 学会認証資格 5学会

資格名	初回認定年	認定資格保有者数
日本運動器看護学会認定運動器看護師Japan Society for Musculoskeletal Nursing Certification JSMNC; ジャスミンシーと読む	2013	170人
日本公衆衛生看護学会認定専門家	2023(予定)	
臨床スキンケア看護師、排尿ケアチーム専任看護師		把握無し
まちの減災ナース指導者	2020	73人
救急看護師認証制度	検討中	約4000人

# 資格認定のための要件（複数回答）

項目	回答数
指定の研修プログラムの受講	5
知識試験合格	4
実技試験合格	1
自由記述	2

## 自由記述

1. まちの減災ナース：課題の発表および小論文、研修評価等による審査
2. 日本公衆衛生看護学会認定専門家：公衆衛生看護に関する教育・研究・実践についての活動実績等

## 学会が主催もしくは認定する研修プログラムあり7件/43件

学会名	内容
日本在宅ケア学会	看護のエコー・テレナーシングWebセミナー
日本母性看護学会	年間計画に沿って委員会が企画/運営する各種研修会
日本運動器看護学会	日本運動器看護学会Web研修会 日本運動器看護学会地区研修会
日本糖尿病教育・看護学会	糖尿病重症化予防（フットケア）研修、糖尿病透析予防支援質向上のための研修
日本老年看護学会	認知症看護対応力向上研修 （認知症ケア加算の算定に必要な研修）
日本クリティカルケア看護学会	教育セミナー、人工呼吸教育コース、終末期ケアセミナー、せん妄ケアセミナー、口腔ケアセミナー
日本家族看護学会	研究法に関するセミナー、論文投稿に関するセミナー、家族看護実践に関するセミナー



# 学会主催もしくは認定プログラム修了者の活用 「している」5件/7件(複数回答可)

活用方法	回答数
社員データベースでの管理	4
学術集会でのセッション等登壇	5
診療報酬・介護報酬改定に向けた意見の収集	4
診療報酬・介護報酬改定に向けた研究活動への参画	3
自由記述	3

# 主催・認定プログラムフォローアップ あり3件/7件

学会名	内容と時間	人数
日本母性看護学会 資格更新要件あり	プラクティカルCTG判読スペシャリスト1st認定コース」ベーシック受講者のアドバンスセミナーとして「2nd認定コース」、8時間	98人
運動器看護学会 資格更新要件あり	JSMNCフォローアップ研修、6時間数	34人
日本糖尿病教育・ 看護学会	糖尿病重症化予防(フットケア)研修 ブラッシュアッププログラム、5時間	400人

特定行為研修修了者の把握 あり1件/43件  
認定看護師の把握 あり4件/43件

- 特定行為研修終了看護師
  - 日本NP学会：525人
- 認定看護師
  - 日本NP学会：23人
  - 日本生殖看護学会：約100人
  - 日本糖尿病教育・看護学会：731人
  - 日本慢性看護学会：77人

# 特定行為研修修了者社員・認定看護師会員の活用 あり12学会/43 (複数回答可)

活用方法	回答数
社員データベースでの管理	4
学術集会でのセッション等登壇	12
診療報酬・介護報酬改定に向けた意見の収集	7
診療報酬・介護報酬改定に向けた研究活動への参画	6
学会員へのコンサルテーション	1
自由記述	3

## 自由記述

- 1.日本運動器看護学会：認知症ケア認定看護師を有するJSMNCを研修の講師として活用
- 2.日本糖尿病教育・看護学会：理事会や委員会の構成員、研修講師の推薦・登用、学術集会の企画・運営や企画に対する登壇、「糖尿病看護フットケア技術」「災害時糖尿病看護マニュアル」など当学会刊行物の企画・制作、日本糖尿病療養指導士認定機構など関連団体の運営への参画
- 3.日本老年看護学会：コロナ禍での高齢者・家族へのケアに関するホームページ公開

# 特定行為研修修了者社員・認定看護師の支援 あり5学会/43件 (複数回答可)

支援方法	回答数
認定看護師の資格更新のための研修開催	5
特定行為研修修了者のフォローアップ研修開催	1
事例検討会の開催支援	2
活動推進のための委員会の設置	3
自由記述	1

## 自由記述

1.日本糖尿病教育・看護学会:学術集会での認定看護師教育課程研修生による展示、認定看護師会員が自己の活動や実践を論文投稿しやすいようなシステムの検討、糖尿病看護発展への貢献など実績を認められた者を表彰し公表

# 特定行為研修修了者会員・認定看護師会員の 効果評価調査研究 あり 3学会

公表方法	回答数
報告書を作成し、学会HPで公表している	2
研究論文(資料、報告含む)として学会誌に公表している	2

学会名	公表内容
日本老年看護学会	報告書16
日本創傷オストミー失禁管理学会	報告書3、研究論文3
日本糖尿病教育・看護学会	研究論文8

# 看護系大学院修了実践者の人数の把握

CNS7学会、診療看護師/JANPU-NP 1、その他看護系大学院修了者5

学会名	実践者とその人数
日本NP学会	診療看護師525人
日本災害看護学会	CNS27人
日本母性看護学会	調査中
日本糖尿病教育・看護学会	CNS75人
日本精神保健看護学会	CNS24人
日本老年看護学会	CNS206人
日本慢性看護学会	CNS72人
日本ニューロサイエンス看護学会	CNS23人
日本家族看護学会	CNS人数記載なし

# 看護系大学院修了実践者の活用あり20学会/43 (複数回答可)

活用方法	回答数
会員データベースでの管理	5
学術集会でのセッション等登壇	18
診療報酬・介護報酬改定に向けた意見の収集	9
診療報酬・介護報酬改定に向けた研究活動への参画	6
学会員へのコンサル	2
自由記述	7



# 看護系大学院修了実践者への活動支援 あり 8学会/43(複数回答可)

支援方法	回答数
専門看護師の資格更新のための研修開催	3
診療看護師／JANPU-NPの資格更新のための研修開催	1
事例検討会の開催支援	5
活動推進のための委員会の設置	6
自由記述	2

# 看護系大学院修了実践者活用効果評価調査研究 あり4学会/43

公表方法	回答数
報告書を作成し、学会HPで公表している	1
研究論文(資料、報告含む)として学会誌に公表している	3

学会名	公表内容
日本老年看護学会	報告書14
日本NP学会	学会誌掲載論文36本中、「看護系大学院修了実践者の活用効果評価」は7本
日本母性看護学会	研究論文3
日本慢性看護学会	事例研究2

# Web調査まとめ

- 学会としての資格認定、研修プログラム、資格更新制度などなんらか生涯学習支援の仕組みを有している社員学会は7学会
- 特定行為研修修了者、認定看護師の社員を把握している学会は4学会、活用は12件、効果評価のための調査研究は3学会が行っていた。
- 看護系大学院修了実践者の活用は20件、活動支援は8件、効果評価のための調査研究は4学会が行っていた。
- 専門領域がはっきりしている学会が積極的に実施していた。JANAの社員学会には包括的総合的な領域の学会数も多いため、実態調査そのものに回答しにくい状況もあった可能性がある。

# インタビュー調査

- ・ 調査目的

- ・ 社員学会における、専門性の高い看護師の育成活用に関する方向性と課題、高度実践看護制度推進の課題、JANAへの提案を共有し、高度実践看護ブランドサインの構築実装に向け意見を募ること

- ・ インタビュー回答者

- ・ APN制度推進に関して社員学会を代表して意見を述べることができる方
- ・ Web調査回答→インタビュー可能→依頼文書送付
- ・ 了解を得られた13学会にインタビューを実施した

- ・ インタビュー方法

- ・ Zoomによる同時双方向面接

# データ収集インタビューガイドと分析

- 1次調査結果の確認
- この調査結果に関する感想をお聞かせください
- 調査結果に関する質問はありますか
- 調査結果をもとにAPNグラウンドデザインに向けたエビデンス集積のために必要と思われる活動を述べてください。
- 一つ一つについてその理由、ねらいを教えてください
- 具体的方策についてアイデアがあれば教えてください
- Zoomによる記録から逐語録を作成。データクリーニングは調査補助者（大学院生）に依頼
- 内容分析を行い、Web調査自由記述分析と統合してカテゴリー化した

# 結果

- ・ 別紙、「意見交換用資料 1」参照

# 意見を頂きたいポイント

- ・ 「JANA意見交換会用報告書（本ファイル）」および「意見交換用資料1」を読んで理解したこと、課題だと思ったこと
- ・ 看護の質改善に向けた専門性の高い看護師およびAPN関連のJANAにおける情報共有の在り方について
- ・ 日本のAPN制度の在り方について